

## 令和5年度 第Ⅱ期 実習報告書のまとめ

山梨県薬剤師会  
薬学生受入対策委員会

### ① 感想

- 何事にも前向きに自ら進んで実践していただきました。ひとつひとつの業務を丁寧に行えており、我々も見落とししている点に気づくことができ学ばせていただきました。個人の能力によるところが大きいと思いますが、患者様と信頼関係を気づくことができ、最後は1時間近くお話をしていました。我々と同等の対応であったと思います。我々職員だけでなく出入りの業者の方々ともコミュニケーションをとり、気にかけていただけるような関係を気づくことができていました。大変素晴らしいと思いました。今回も関連書籍や他社の業務マニュアル等を参考にできるだけ最新の情報で指導にあたることを心がけました。行き届かない点も多かったかと思いますが、なんとか実習を終えることができたのも指導薬剤師だけでなくパート・正社薬剤師に関係なく職員全体で学生に関わった結果だと思っています。今回も普段、意識することのない法令や届出事項、業務のひとつひとつを見直すことができ自分自身の薬局管理・薬剤師業務に対する勉強になりました。
- 大学ではしっかりと予習等含めて学習してきたようでした。飲み込みも早く調剤業務の習得も、早い段階で一通りできるようになっていました。中盤から投薬にも積極的に行ってもらいました。なので、繰り返しての投薬も実施出来ました。
- 毎日積極的に取り組み、薬局内の業務・在宅・地域活動・学校薬剤師さまざまな経験を積むことができたと思います。初日から服薬指導をしてもらいましたが、最終日はすでに薬剤師のようにスムーズな流れで調剤し服薬指導もできました。2ヶ月半での成長は大きなものと思います。
- 県庁や検査センターの見学を活用し、今までの実習に比べ色々な事が経験できたかと思えます。距離がある為送迎が難しいのですが、今回は指導薬剤師付添なし、実習生だけで行くことができたので活用できました。このような機会を設けてくださり、ありがとうございました。とても優秀な学生で、実習にも熱心であり、とてもスムーズに実習が進みました。
- 受け入れを決めた当初から、実習が始まるまでの1年ちょっとで指導薬剤師1名、その他薬剤師2名が退職する事態になってしまい、とても厳しい状況での実習となってしまいました。学生さんにも大変な思いをさせてしまったかと思えます。
- 礼儀正しく非常にやりやすかったです。大学の先生が期間中3回も来てくれて、ありがたかったです。その度に学生のモチベーションが上がっていくのがわかりました。
- 患者さんと接する時間が多くなるよう、服薬指導の回数を多く設けた。やりがいはあるが、忙しい業務時間を割くのはやはり大変。自己の成長、基本的なことも含めて学習の振り返りができた。十分な実習内容であったか、毎回懸念が残る。集合研修をしていただき、毎回ありがたいと思う。
- 初めての実習生の受け入れをして、自分自身成長出来たので受け入れを行いよかったと思っています。少し不安な部分もあり、何度か薬剤師会に確認の問合せを行ったのですが、すぐに回答していただいたので問題なく実習が終えることが出来ました。ありがとうございました。学生に対し毎日業務を行いながら講義のような形で教えてみたのですが、思う様に知識が身につけていない場面がところどころ見られたので復習しながら教えてみたりと工夫しながら行いました。学生を教育する難しさを痛感しました。学生の質問に対して直ぐに回答出来ないところもあり、自分自身の知識を身につけなければいけないと感じています。

- 久しぶりに2名を受け入れました。2名とも実習に積極的だったので実習はスムーズにすみしました。webシステムは別々でしたが、操作の方も問題ありませんでした。実習生は2人で行ったことで、相談できて良かった。もう1人の服薬指導など見て学ぶことができた等、良い感想をもっていました。
- 実習生は心構え、薬剤師の職責、患者さんへの心をよせるという点では、深い言葉がきかれました。なんどもなんども繰り返すことで覚える、みにつけるという様子でしたが、知識・技能の習得という点ではかなり指導も大変な実習でした。薬局内での業務と在宅、健康支援、緊急避妊薬、学校薬剤師と地域連携薬局としての取組みを知ることはできましたが、やはり主体的になにかをすすめることまではできなかったです。がんサロンでの経験者との対話などから学ぶことも多かったと思います。
- とても真面目で一生懸命取り組んでくれた。服薬指導実践ではアドバイスを忠実に守り落ちついて対応してくれた。
- 初めてだからなのか、慣れない手配や書類仕事が多くて大変だった。学生の比較対象がない為、どのレベルが求められているのかわからなかった。指導が厳しくなってしまったかもしれない。今時の若者の一般的な考えがわからず、学生の主張が多くてこれが普通なのか悩むことがあった。
- 開始時は指導薬剤師が務まるか心配でしたが、何とか11週の実習を終えることが出来ほっとしています。実習を通じて改めて学習したことも多く自己研鑽になりました。

## ② 問題点と今後の課題

- 同日に調剤業務を行いながら投薬業務も行うような体系で行いましたが、一連の業務を通じて行えていたように思います。いくらか調剤に時間がかかり投薬に行く機会を逃していたケースもありましたので、今後必要に応じて調剤と投薬を行う日を分けて行うようにして行きたいと思いました。OTC販売に関して今回も協力薬局に依頼しましたが、今後は少しでも自薬局で対応できる体制を整えて行きたい。
- 疑義照会の経験が他の業務と比べて少なかったと感じています。忙しい時間帯であるとうしても自分で対応してしまっていた。
- 様々な疾患・患者を経験させたかったので、対応が少し難しいと思う患者に投薬をさせたところ、投薬後に実習生の言い回しが気になったと薬局にクレームの電話が入りました。(投薬を聞いていた限りでは、患者を不安にさせるような言葉はなかったと思います)
- ある程度余裕がないと集中して指導する事が出来ず、内容も飛び飛びとなってしまうことが多いかもしれません。混雑時に学生さんを見てもらう課題等をもう少し準備しておけばよかったと思いました。
- 実習期間中の異動はやめて欲しい。
- 内容によって患者を選ばなければならない。待ち時間の関係で、監査の時間が十分にとれず、事後の考察が多くなってしまった。他のスタッフの協力を得るのが難しいことがあり、指導薬剤師の負担が大きくなってしまふ。
- 服薬指導をやってもらう時には門前の処方偏って指導していた所、学生に何度か同じ注意をしたのですが改善が見られなかった所。

- 学生2人の進捗状況に問題なかったため、実習自体はスムーズでしたが、日誌の入力は少し負担でした。
- 実習生にあわせて目標を設定し、指導方法をスタッフで検討し対応。今回は医師への情報提供書、健康支援のポスター、処方解析などまでできないこともあり。概略評価を2、3にと大学担当教員と打ち合わせをし指導。
- 解らないことが多くて、直接大学に問い合わせをしたこともあった。もっと薬剤師会や先輩薬剤師を頼れば良かったと思う。どのように指導・説明をすると学生にわかりやすいか、手探り状態だった。口頭ではなかなか伝わらなかったり忘れられてしまい、最終的には書面で渡して説明したりもしたが、難しかった。次回はもっと工夫したい。
- 今回受入れ薬局で指導できない項目も多くあり、協力薬局の依頼する日もありました。できる限り受入れ薬局で完結できるよう指導薬剤師の学習の必要性を感じました。

### ③ 問題点・課題の改善点

- 指導にあたり、最新の情報を持つての指導が必要と考え、「薬局実務実習指導の手引き2018版」参考して行おうと思いますが、他にお勧めの書類等があれば、教えていただきたいです。自薬局で実習困難な内容は地域薬剤師会を通じて地域内で基本的には、対応できました。理想は一薬局で完結することでしょうか。人員も不足する薬局が今後も増えてくることが予想されます。地域での協力体制が必要不可欠です。
- 薬剤師会で集合研修を行っていただき、ありがとうございました。東京薬科大学の先生はとても熱心で、3回ほど訪問して学生にアドバイスなどをされていました。日報等もしっかりと読まれていて、連絡もいただきました。
- 災害時の仕事について座学の内容をどこまで話せば良いのかと感じました。
- こちらの意図することと、患者の受け取り方が異なったため、患者に不安を与えてしまいました。齟齬が生じないように、言葉選びや話すトーン、患者の表情を読み取るなど、実習生には難しかったかと反省しました。学生に経験を積ませることは大切ですが、まずは患者を最優先にするべきでした。
- 私の地域の薬剤師会は小さい店舗が多く、1店舗だけで受け入れるにはハードルが高いと感じている人が多いようです。地域内の複数店舗で連携して学生を見るように出来るよう、よく話し合っていく必要があると感じました。
- 大学の先生へ、今後も定期的に訪問してもらえると助かります。
- 指導薬剤師が複数いる薬局は少ないと思うが、他のスタッフの協力が必要。事前に計画し、割り振りを行うとよい。
- 薬局薬剤師が無菌調剤を行うことがあると伝えなかったのですが、実際の処方などがないため処方がある薬局があれば調剤している所を見学させてあげたかった。小児の在宅の見学の機会があればよかった。
- 指導薬剤師がわけられると良かったかなと思います。

- 大学は訪問面談が2回あり、学生への指導もされていました。
- 医療を担う薬剤師としての倫理や考えを大学でしっかり教わってきていない、若しくは身に付いていなかった。この大学だけなのか、今の薬学部の教育方針なのか。疑問が残った。「国家試験にさえ受ければいい」という考えが、当初透けて見えた。学生・指導者共に、実務実習指導管理システム、大学、各薬剤師会と何度も同じような振り返り・評価やアンケートを書くことになり、まとめることは出来ないのかと思った。
- 集合研修の日程が実習開始前にわかっているとよかったです。

#### ④ 協力薬局の感想・問題点と改善策

- 今回も薬局製剤・漢方製剤・OTC販売など当薬局で実施不十分な内容を協力薬局の先生方に行っていただき大変感謝しております。今回も地域内での対応が難しく、他地域の薬局さんに協力をお願いしました。在宅など状況によっては、地域内での対応が難しくなることが考えられるため、今後も地域を越えた協力体制が必要に感じます。
- 協力薬局の先生方には、薬剤師会同様にとてもありがたく、貴重な体験を実習生にさせて頂いたと思っております。スケジュール調整など大変だったと思います。誠にありがとうございました。
- 積極的に何でも吸収したいという姿勢が伝わってきて、好感が持てる学生でした。半日という短い時間でしたが、眼科領域やコロナ治療薬の調剤など学生にとって良い機会になったなら嬉しいです。学校薬剤師として小学校2校訪問。校長先生、養護教諭の先生にも礼儀正しく、挨拶されてしっかりした学生さんだなと思いました。検査も進んで行い、こちらからの質問に物怖じせず答えられたりととても好印象でした。プール水質検査と照度検査も一箇所だけでいろいろ教えられませんでした。何か得るものがあったら嬉しいです。
- 今回は協力薬局へは行かず、ほぼ自店のみで実習を終えました。また機会があればお願いしたいと思います。
- 甲府市薬剤師会の集合研修には大変お世話になりました。ありがとうございます。
- 当薬局では行えないことをグループ店に協力してもらった。忙しい中で協力していただき助かっている。
- 忙しい中、講義や見学をさせていただきありがとうございました。学生からいろいろとお話を聞かせていただき、勉強になりました。問題点などは特にはないです。
- 日程がなかなか決まらない所もあったので受け入れる側も大変だったかと思います。集合研修では、他の学生とも情報交換できるので学生にとっても良い時間だと思います。
- 集合研修で、いろいろな指導者にであうこと、学習範囲が広くなりよかったですと思います。
- 連携も問題なく、学生の満足度も高かった。
- 実習・体験させて欲しいことを一覧表にして、各薬局実習後チェックをして返信してもらった。これは、実習させて欲しいこと、これまで実習した内容がわかると好評だった。実習時期により出来ることが変わる為、同協力薬局へ連日ではなく実習前半と後半に分けて行ってもらった。協力薬局薬剤師も学生の実習生が見られて良かったとのこと。メールだけでは

協力薬局薬剤師に実習内容が上手く伝わらなかった為、やはり電話でのフォローも必要だったと思った。協力薬局への実習は、各2回～4回引き受けていただいたが、4回行った薬局の方が実習内容に深みが出たため、出来れば1薬局3回は実習に行かせた方が良いのかもしれない。

- 多くの先生方は丁寧に指導していただきましたが、問題のある協力薬局もありました。すべての薬局で学生にとって、有意義な実習が受けられるように一定の質の担保が必要と思いました。依頼する際には慎重に最小限にとどめるべきと思いました。

# 実習生アンケート

長期実務実習 第Ⅱ期(令和5年5月22日～8月6日) 13施設14名

アンケート提出者:14名

病院実習 未:14 済:0

①今回の実習はあなたのニーズにマッチしましたか？

最低 1	2	中程度 3	4	最高 5
			3	11

未記入:

②指導薬剤師から受けた指導時間についてどうでしたか？

物足りない 1	2	中程度 3	4	充分 5
			3	11

未記入:

③大学での事前学習・講義などと実習での相違点はありましたか？

なし	あり	未記入
6	7	1

④自分で思い描く薬剤師像と実際の薬剤師像とマッチしていましたか？

かけ離れていた 1	2	中程度 3	4	合っていた 5
	1		4	9

⑤今回の実習を終えて、卒後の進路希望について変化はありましたか？

なし	あり	未記入	その他
12	1	1	

⑥主に実習を受けた薬局の指導薬剤師の対応はどうでしたか？

悪かった 1	2	中程度 3	4	良かった 5
		1		13

⑦今回実習を行った他の薬局等での実習はどうでしたか？

悪かった 1	2	中程度 3	4	良かった 5
			2	12

⑧今回の実習が今後(在学中、卒業後)に役立つと思いますか？

役立つ 1	2	中程度 3	4	役立つ 5
			1	13

## コメント部分について

③大学での事前学習・講義などと実習での相違点はありましたか？

<あり> 7名

服薬指導での患者さん一人一人への対応のしかたの違いなど

大学では一包化について触れる機会があまりなかったのですが、実際の現場ではかなり一包化の件数が多かったと感じました。

マニュアル通りではいかず、薬局を経営する側としてある程度効率化が求められる点  
実際の現場ではどのように使用されているのか、講義では学ぶことのできないことも学ぶことができた。

調剤の手順や服薬指導の内容

指し確認、3回確認、声出しなどを大学では習った。

⑤今回の実習を終えて、卒後の進路希望について変化はありましたか？

<あり> 2名

<なし> 12名

薬局 → 薬局 病院 → 薬局

病院実習まで終えてから希望を再度考えたいと思っています。

病院 → 病院

⑨今後の実習をより良いものにするためにお聞きします。

・薬局で調剤するだけでなく、他の薬局に行ってOTCや吸入について学ぶ機会があったり、集合研修で行政の業務や検査センターを見学したり、他の実習生との交流が多く情報を交換したり楽しみながら学ぶことができました。実習期間中に無菌調剤や介護施設の調剤が始まりさまざまな体験をすることができたのでとても満足です。ありがとうございました。

・座学では感じる事ができない、実際の医療現場の雰囲気を経験することができた。処方箋から症状を推測する力が鍛えられた。薬局薬剤師の働き方について学ぶことができた。服薬指導を通じて、コミュニケーション能力や薬に関する知識が身に付いた。

・今回の実習では、処方せんの受け取りやピッキング、監査、服薬指導といった調剤業務だけでなく、レセコンの入力や分包機を回す作業などにも従事させていただき、処方せんを受け取ってからお渡しするまでの一連の流れ全てに関わることができた。そうすることで患者さんを待たせずに薬を間違いなく正確に渡せるのかを自分で考えて行動に移すことができた。とても充実した実習となり良かったです。

・自分の知識や技能に合わせて基本的な部分から、学校では習わないような臨床の場でしか学べないようなことまで教えていただいた。基本的な薬剤師業務だけでなく、関わった症例や気になった症例に関しては、服薬指導だけでなく、知識としても詳しく教えていただいた。また、患者さん一人一人ごとに適した服薬指導のしかたを学ぶことができた。

・調剤業務や服薬指導だけでなく、学校薬剤師や在宅医療、往診同行など薬局外での業務についても多く経験させていただき薬剤師が地域で担う役割について広く学ぶことが出来た。また、指導薬剤師の先生のみならず、薬局内の薬剤師・医療事務の先生方も積極的に指導をしてくださり、学べる環境が整っていた事も2ヶ月半実習を行いありがたく感じた事の1つです。

・実習生同士の交流の機会があるのは良かった。

・薬局実習期間中では達成の難しいSBOsにおいて研修にて実習生全体での偏りが起きにくい様になっており、特に救急災害医療、エピペン講習などは大変勉強になりました。

・様々な診療科の処方せんに触れ、薬の知識や調剤の手技、コミュニケーション能力などを向上させることができたと思います。

・実習では薬局の方々がいつも質問をすると非常に丁寧に教えてくれ、私が実習で薬剤師でなければならないことを一つでも多く吸収できるように配慮して下さいました。何度も同じ質問をしてしまったり、要領の悪い動きが多かったと思いますが、人間として大切にすべきことも話されながら指導して頂けて本当に良かったです。研修では、様々な内容について学ぶことができ、薬剤師の仕事について幅広くイメージすることができて良かったです。

・自分の配属先の薬局が内科が門前であった事、立地の関係もあり、まんべんなく処方を見る事が出来た。多くの患者さんの投薬をやらせてもらい、実践的な経験をつみ上げる事が出来た。集合研修、他の店舗での実習など色々な薬習、薬剤師の方々とお会いし考え方を知る、学ぶ事が出来た。指導薬剤師の先生の投薬、在宅などの見学、同行は学べる事が多かった。

・大学では学ぶことができない貴重な経験をさせていただきました。丁寧に指導により、実りある実習になりました。実習に関わって下さった先生方に心より感謝申し上げます。